

4/9

自転車通学時の 事故防止に

志成学園・反射タスキ贈呈式

志成学園で7年生(中学1年生)35人が参加して「反射タスキ贈呈式」が行われました。これは、交通安全協会国東支部が独自に行っている取り組みで、毎年市内の全中学1年生に対して交通安全のための反射タスキを贈呈しています。志成学園7年生の清水悠里さんは「タスキを付けて、交通ルールを守りたいです」と話していました。



4/9

青天のもとで 刈り取り作業に励む

天然ひじき漁が解禁

市内のトップを切って、国東町で「天然ひじき漁」が解禁され、晴天のもとで漁師の皆さんがひじきの刈り取り作業を行いました。国東半島はひじきやわかめなどの藻類資源が豊富で、ひじき漁は漁業者の大きな収入源になっています。漁師の小田純一さん(国東町富来浦)は「生涯現役で頑張ります」と笑顔でひじきを刈り取っていました。



3/25

地域の福祉・教育の拠点に

安岐中央公民館落成式

「安岐中央公民館まつり」の開催に合わせて、安岐中央公民館の落成式が行われました。安岐中央公民館は昨年2月に完成しましたが、落成式はコロナ禍で延期となっていました。この度の落成式では、加藤正和教育長が「地域の福祉や教育の拠点として、多くの市民に活用されることを願っています」と祝辞を述べました。



3/25

儲かる農業者を目指して

国東こねぎトレーニングファーム修了式

国見町の「みんなかん」で国東こねぎトレーニングファーム修了式が行われ、1年間の研修を終えた志賀太一さん、高尾勇貴さん、池田憲治さんに、三河市長から修了証書が手渡されました。武蔵町でこねぎの栽培を始める志賀太一さん(福岡県出身・右端)は「よいねぎを作って、儲かる農業者を目指します」と抱負を語っていました。



4/21

ひとり親世帯のために 役立ててほしい

国東市母子寡婦福祉会国東支部が寄付

国東市母子寡婦福祉会国東支部のメンバーが市役所を訪れ、市に50万円を寄付しました。会長の日隈君子さん(右から2人目)が「ひとり親支援などの活動を続けてきましたが、後継者不足のため解散することになりました。残ったお金を寄付しますので、市内のひとり親世帯のために役立ててください」と三河市長に寄付の主旨を述べました。



4/16

南分署の 一丸副士長が頂点

大分県消防職員意見発表会

3月に行われた「第44回大分県消防職員意見発表会」で、市代表の一丸泰広副士長(南分署)が最優秀賞を受賞しました。一丸副士長は「救命の知識・技術を競う『救急救命技術大会』の開催提案」をテーマに発表を行い、県下14名の発表者の頂点に立ちました。4月16日に市消防本部で伝達式が行われ、一丸副士長に賞状と盾が贈られました。



4/3

コロナ禍終息と 人々の心の平穏を願って

両子寺に七島蘭工芸品と書を奉納

聖徳太子によって十七条憲法が4月3日に制定されたことにちなみ、コロナ禍終息と人々の心の平穏を願って、両子寺に七島蘭工芸品と書が奉納されました。工芸作家の岩切千佳さんが鶴と亀の七島蘭工芸品を奉納し、国東市出身の書家・松本重幸さんが、十七条憲法の「和をもって貴しとなす」などの言葉をしたためた書を奉納しました。



3/26

岩光さんと畔地さんの 人権擁護活動を表彰

法務大臣表彰状・感謝状伝達式

長年の人権擁護活動への貢献が認められ、市の人権擁護委員を務める岩光侃さん(武蔵町麻田)と畔地美恵子さん(安岐町下原)に、それぞれ法務大臣表彰状と法務大臣感謝状が贈られました。市役所で伝達式が行われ、三河市長が「人権啓発や人権教育など、人権行政にご尽力いただき感謝しています」と功績を称えました。

